

1 子どもの読書環境の現状

(1)文部科学省 全国学力・学習状況調査より

■1日当たり10分以上読書している児童生徒の割合

小学6年生 R4 57.3% → R5 59.4%
 中学3年生 R4 43.2% → R5 44.1%

■昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に年に数回程度以上行くと回答した児童生徒の割合

小学6年生 H31 72.2% → R5 62.0%
 中学3年生 H31 43.7% → R5 38.1%

■家にある本が「10冊以下」と答えた児童生徒の割合

小学6年生 R4 10.9% → R5 12.8%
 中学3年生 R4 14.8% → R5 15.9%

■新聞を「月に1～3回以上読んでいる」と答えた児童生徒の割合

小学6年生 R4 27.1% → R5 25.1%
 中学3年生 R4 21.2% → R5 19.7%

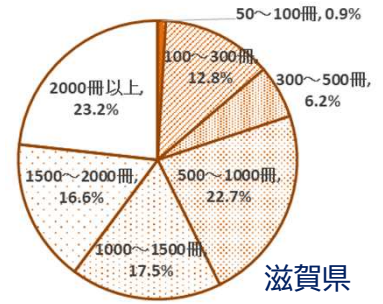
■「読書が好きですか」という質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学6年生 R4 72.7% → R5 71.2%
 中学3年生 R4 64.7% → R5 61.9%

(2)文部科学省 R3 幼児教育実態調査より

■幼稚園・幼保連携型認定こども園 保有している絵本の冊数

50～100冊未満	： 全国 2.8%	滋賀県 0.9%
100～300冊未満	： 全国 15.6%	滋賀県 12.8%
300～500冊未満	： 全国 15.9%	滋賀県 6.2%
500～1000冊未満	： 全国 22.2%	滋賀県 22.7%
1000～1500冊未満	： 全国 14.6%	滋賀県 17.5%
1500～2000冊未満	： 全国 9.3%	滋賀県 16.6%
2,000冊以上	： 全国 18.0%	滋賀県 23.2%



2 子どもの読書活動に関する取組

(1)子ども読書の日

年度当初に「子ども読書の日」の各学校で読書活動の活性化を図るため、市町を通じて別紙資料【幼小中資料①】を県内の小学校・中学校・義務教育学校に配付し、図書館の機能を生かした授業づくりや読書活動の充実に向けた創意ある取組を推進している。

(2)読書活動推進事業

国の委託事業として、令和4年度から学校図書館図書の購入を促進する「読書活動推進事業」に取り組んでいる。令和4年度は、彦根市立稲枝東小学校と多賀町立多賀中学校の2校が推進協力校として事業を行った。【幼小中資料②】
 令和5年度は米原市立坂田小学校と米原市立大東中学校が研究協力校として取組を進めている。

(3)子供の読書活動優秀実践校

文部科学省より依頼を受け、読書活動優秀実践校の推薦を市町から募り、令和4年度は栗東市立葉山小学校と米原市立大東中学校を優秀実践校として報告した。例年、実践校の取組は、「子どもの読書情報館」のHPに掲載されている。

→各取組の実践事例を司書教諭連絡協議会で紹介したり、学校訪問で各校の管理職・図書館担当に伝えたりしている。